

三世代グラウンドゴルフ大会

第2回三世代交流グラウンドゴルフ大会が11月30日、御厨地域運動場で開催されました。

地域住民の交流と子どもの健全育成などを目的に、松浦商工会議所御厨支部、御厨地区青少年健全育成会、長生会の主催で行われたものです。この日は地域の子どもからお年寄りまで約160人が参加。ベテランの高齢者が子どもに指導するなどして和気あいあいとプレーし、交流を深めました。また、終了後にはビンゴゲームやぜんざいの無料配布も行われました。上位の結果は次の通りです（敬称略）。

【子どもの部①（小1～4年生）】

①福田琴乃 ②山中慶吾 ③長谷川智也

【子どもの部②（小5～中3年生）】

①林託夢 ②稲沢佑汰 ③福島憂也

【大人の部】 ①福本政二 ②荒岩洋子 ③立石犀治



松浦市陸協東が優勝 —北松縦断駅伝—

第45回北松縦断駅伝大会が11月16日、きらきら21前をスタート、佐々町役場前ゴールの7区間41.3kmのコースで行われました。

大会には、松浦・平戸・北松地域などから16チームが出場。一般・高校・フリーの3部門で順位を競い、一般の部に出場した松浦市陸協東が優勝しました。結果は次の通りです（市内のみ、敬称略）。

【一般】①松浦市陸協東（2時間35分05秒）

【高校】①松浦高校A（2時間12分40秒） ③松浦高校B（区間賞）

【一般・フリーの部】

○7区6.9km…松尾匡易（よせあつめ、区間新19分51秒）

【高校の部】

○2区5.0km…木寺良太（松浦高校A、区間新15分35秒）

○4区5.9km…尾上慎太郎（松浦高校A、20分04秒）



バスケットボールで親善

ミニバスケットボール松浦親善大会（同大会実行委員会・松浦ロータリークラブ共催）が11月29日、30日、12月13日、14日の4日間、松浦スポーツセンターで開催されました。

選手などチーム同士の交流を図り、互いの親ほくと競技力の向上を目指して毎年開催されています。

同大会には、市内志佐小、調川小のほか、大村市、佐賀市などから男女24チーム約400人が参加。保護者など多くの観客が見守る中、熱戦を繰り広げました。上位入賞者には、副賞として旬サバやアールスメロンなどの松浦市の特産品が贈られました。



市PTAインディアカ

松浦市PTA連合会（藤田英敏会長）が11月16日、福島体育館でインディアカ大会を開催しました。

同大会は、小・中学生の子どもを持つ保護者や教師などの交流を目的に毎年開催されています。この日は市内の小・中学校から56チーム約430人が参加し、3パートに分かれて予選リーグ、決勝トーナメントで順位を競いました。結果は次の通りです（敬称略）。

【Aパート】①福島中C ②御厨小C ③志佐小F

【Bパート】①志佐小D ②志佐小E ③養源小B

【Cパート】

①上志佐小A

②志佐小C

③志佐小A



お詫びと訂正

市報まつうら12月号に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。
○24頁の「森翔平君がジュニアオリンピック出場」の森翔平君の学年
（誤）福島中3年 （正）福島中2年

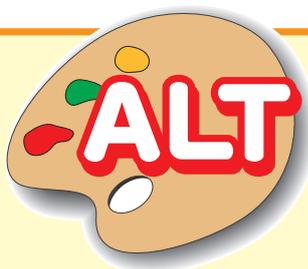
中世の松浦(2)

松浦地方の海岸部で、島や山の陰になった浦は、独立性が強く、海の武士たちが割拠する場所でもありました。彼らは源姓に一字名という共通点をもっており、11世紀頃より外敵と戦うなど海上活動を得意とする集団として知られていました。元暦2年(1185年)の源平合戦の壇ノ浦の戦いでは平家方として参加し、のちに寝返った水軍の中に「松浦党」の名が見えます。「松浦党」とは、こうした武力を持つ集団に対し、中央貴族などの第三者がつけた呼称です。この時代の「党」という概念は、人びと・住人などと呼ばれる場合と大差はなかったようです。鎌倉時代以前の松浦党には、南北朝時代以降に認められる共和的団結は存在せず、まして現代における「党」という言葉がもつ『各メンバーの組織された結合体』という性格はなかったようです。

松浦は、12世紀から16世紀にかけて、朝鮮半島・中国大陸に近いという地理条件を生かして東シナ海などで頻繁に貿易を行った「松浦水軍・松浦党」発祥の地といわれています。

一説によれば、松浦一族は嵯峨源氏の後裔とも、安倍宗任の後裔ともいわれていますが、延久元年(1069年)、源久という人物が宇野御厨検校として松浦郡志佐郷今福に下向土着したのが、松浦氏の起こりと考えられています。

▶ 源久公が上陸した所と伝わるぎぎが浜



コラム

フィオナ先生
(オーストラリア出身)

Heading North for the winter 冬になったら、北へ行こう

オーストラリアでは多くの人々が冬の休みには暖かい北へ行きます。しかし、日本では北に行けば行くほど寒くなりますね。先日、短い期間でしたが北海道に行ってきました。運良く、雪が降る前で、紅葉が見ごろの時でした。北海道にはいつも行きたいと思っていました。実際行ってみると想像と違っていたので驚きました。北海道は想像していたよりももっと美しいところでした。私が滞在した屈斜路や知床の方は一年を通して雪が降っていると思っていました。驚いたことに、見るところ見るところ緑の草原や花がありました。そしてもちろん、赤、オレンジ、黄色の紅葉も見られました。道は広くて家や店はほとんどなく、離れていました。湖や火山はまさに息をのむ美しさでした。毎日違う温泉に行き、日によっては2回入りました。ウトロからの北東部のクルーズでは、野生の熊の親子を見ました。アイヌコタンを見学したり、阿寒湖の周りを散策したり、おいしいものたくさん食べました。カキやイクラ、カニ、ラム肉、ウニもおいしかったです。鹿肉のカレーや勇気をもって試したセイウチの肉はあまりおいしくなかったです。

北海道にいと、本当に他の国にいるような感じでした。もし、北海道旅行を計画中の人がいたら、数キロ太って帰ることになるので、注意してくださいね。

